

重点項目1 福祉施設の入所者の地域生活への移行

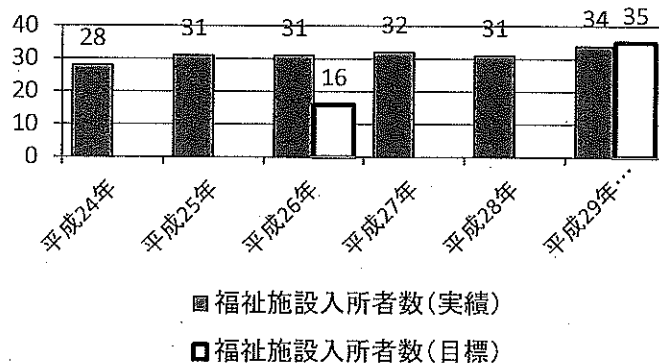
【第4期障がい福祉計画】P94

地域生活における支援体制が十分に整っているとはいきれない現在のサービスの枠組みの中で考えたとき、現在の施設利用者について、あえて地域生活への移行を行うことは、本人の高齢化や障がい特性などにによりQOLの低下につながるため、地域移行数についての成果指標は設定していません。が、地域生活における支援体制の整備に努めます。

	単位	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年(6月実績)
福祉施設入所者数(実績)	人	28	31	31	32	31	34
福祉施設入所者数(目標)	人			16			35

	単位	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年(6月実績)
地域生活移行者数(実績)	人	0	0	0	0	1	0
地域生活移行者数(目標)	人			9			—

福祉施設の入所者数

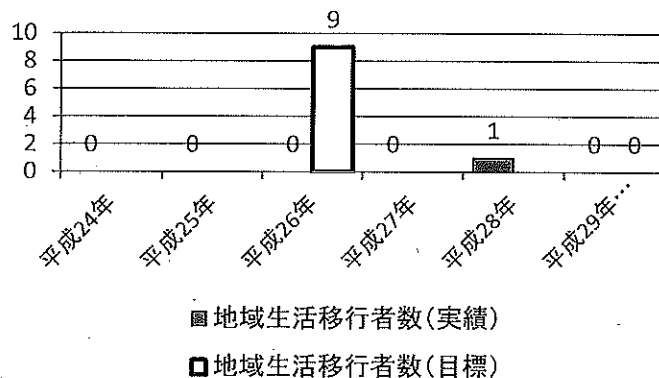


【現状評価】

平成27年度3名が新規入所2名が訓練等サービス利用に合わせて入所した。27年度中に訓練期間終了等により3名が退所、1名が高齢者施設への移行のため退所した。

平成28年度中は1人がグループホームへ地域生活移行により退所した。平成29年度は、6月までの間に施設への新規入所2人、訓練等サービス利用による入所が1人となっている。

入所施設からの地域生活移行者数



【現状評価】

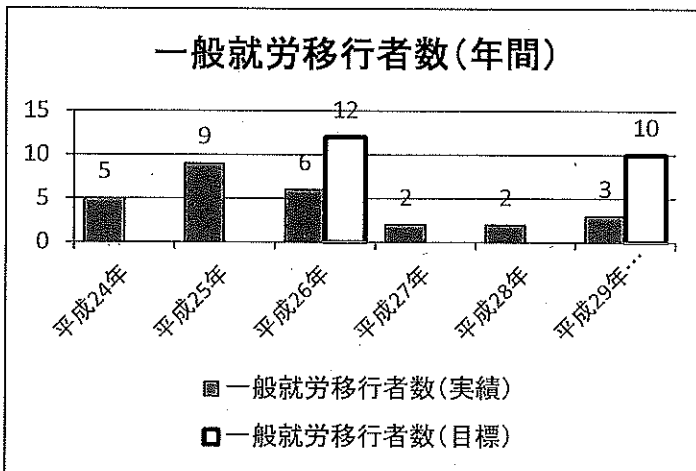
平成28年度中に施設入所から1名グループホームへ移行。

重点項目2 福祉施設から一般就労へ向けての取り組み

【第4期障がい福祉計画】

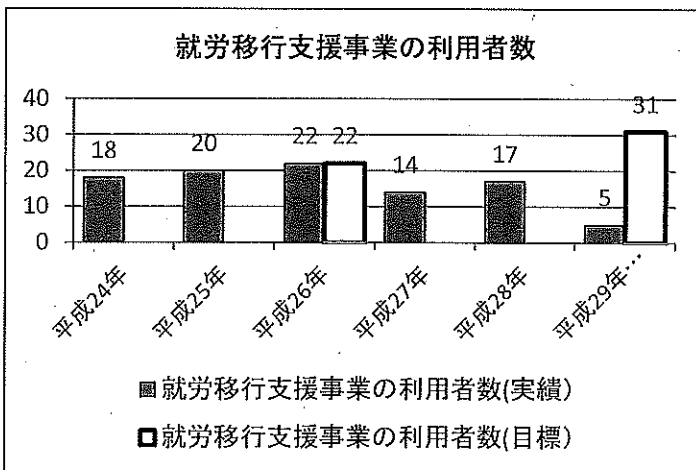
甲賀地域障害児・者サービス調整会議や就労支援関係機関および湖南市障がい者就労情報センター、チャンスワークこなん等で築いてきた、企業、就労支援機関、福祉関係者などのネットワークを発展させ、既存の就労相談機関などとの役割分担を図りながら、一人でも多くの進路の保障をめざすなど、一般就労に向けた取り組みを支援していきます。

	単位	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年(6月実績)
一般就労移行者数(実績)	人	5	9	6	2	2	3
一般就労移行者数(目標)	人			12			10
就労移行支援事業の利用者数(実績)	人	18	20	22	14	17	5
就労移行支援事業の利用者数(目標)	人			22			31



【現状評価】

福祉的就労から一般就労へ移行したのは平成27年度中は2人。平成28年度中も2人、平成29年度は8月時点で3人移行。



【現状評価】

市内の就労移行支援事業所は1カ所のみとなっている。平成28年度の利用は高校3年生の実習での利用が多い。17名中、4名は一般就労へ移行した。平成29年度の利用は高校3年生の利用はなし。

重点項目3 地域生活支援拠点の整備

【第4期障がい福祉計画】

平成29年度末までに、地域生活支援拠点施設等として緊急時に対応できる機能を有する体制について検討を行い、整備していきます。

支援・サービスの実績

平均延利用時間/月、実利用人数/年

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量							
延利用時間/月	1,402	1,477	1,241	1,347	1,475	1,515	1,586
実利用人数/年			173	207	253	181	191
実績							
延利用時間/月	1,006	1,142	1,366	1,381	1,317	1,304	1,390
実利用人数/年	122	141	157	170	170	158	159
達成率			110%	103%	89%	86%	88%
実利用人数/年			91%	82%	67%	87%	83%

(内訳)

月あたり時間(人)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
居宅介護	1,040(126)	1,070(123)	998(118)	952(125)	
重度訪問	52(2)	18(2)	65(2)	225(2)	
行動援護	198(23)	146(18)	135(17)	131(17)	
同行援護	91(19)	89(24)	106(21)	82(15)	

※湖南市の居宅介護事業所…れがごと、落穂寮、湖南市社協ホームヘルプセンター、アザレア、八起会ホームヘルプステーション、美松苑ヘルプステーション、ほだいじヘルプステーション

※湖南市の行動援護事業所…れがごと、落穂寮

※湖南市の同行援護事業所…、湖南市社協、アザレア、八起会ホームヘルプステーション

※湖南市の重度訪問介護事業所…れがごと、落穂寮、湖南市社協ホームヘルプセンター、アザレア、八起会ホームヘルプステーション、美松苑ヘルプステーション

<生活介護>

平均延利用日数/年、実利用人数/年

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量							
延利用日数/年	17,688	24,288	18,468	18,924	19,392	23,364	24,516
実利用人数/年			80	82	84	101	106
実績							
延利用日数/年	11,388	13,104	17,733	19,507	20,060	20,743	22,355
実利用人数/年	49	57	75	90	92	99	100
達成率			94%	103%	103%	89%	91%
実利用人数/年			94%	110%	110%	98%	94%

※圏域の生活介護事業所(通所)…るりこう、やまなみ、第2さわらび、ワークセンター紫香菜、バンバシ、さつき、落穂寮

※その他利用のある生活介護事業所(通所)…重症心身障害者通所施設 さんさん

※圏域の生活介護事業所(入所)…るりこう、信楽青年寮、落穂寮、もみじ、あざみ、一麦

居宅介護等の月平均利用時間数は、実績においては毎年少しずつ増えているが、行動援護及び居宅介護の絶対的なサービス供給量不足であることは否めない状況である。

H24年度及びH25年度の利用者増は、新体系への完全移行を機に、就労継続支援B型から、生活介護に移行したケースが多かった。また、特別支援学校卒業者に生活介護の利用者が増えたこと、また、重心通園A型B型、通所生活訓練援助事業の利用者が、平成24年度の自立支援法の改正により生活介護に移行したことによる増加。今後も、特別支援学校新卒者の進路保障のために、定員増または新規事業者の参入が望まれる。

甲賀地域障害児者サービス調整会議において、重症心身障がい者を対象者とする生活介護事業所の平成31年4月新規開所をめぐって検討を行っている。

支援・サービスの実績

実人数/年

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量 実利用人数/年	0	1	11	11	11	10	10
実績 実利用人数/年	0	0	10	10	10	10	10
達成率 実利用人数/年			91%	91%	91%	100%	100%

児童福祉法の対象であった重症心身障害児施設に入所中の18歳以上の者が、H24.4から療養介護の対象となった。

県内でも利用希望者が多いことから、新規の入所利用は困難な状況にある。

ひわこ学園への入所については、県により入所調整会議が行われている。

※利用中の療養介護事業所…ひわこ学園医療福祉センター草津・野洲、医療福祉センターきずな(兵庫県)、紫香楽病院

平均延利用日数/月、(実利用人数/年)

<短期入所>

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量 延利用日数/月	135	145	131	142	155	150	165
実績 延利用日数/月	36	39	54	58	63	61	67
達成率 延利用日数/月	103	110	97	124	125	117	136
見込量 実利用人数/年	42	43	44	52	46	44	50
実績 実利用人数/年	76%	76%	74%	87%	81%	78%	82%
達成率 実利用人数/年	117%	110%	81%	90%	73%	72%	75%

短期入所の支給申請者は微増。ほぼ半数の人が安心決定での支給決定である。介護者の入院などに伴って緊急に利用するケースもあり、年間の利用日数は年度ごとに上下している。ニーズは高く、希望した際に利用できないこともあり、供給量不足であることは否めない。

※圏域の短期入所事業所…るりこう、信楽学園、もみじ、あざみ、落穂寮、一麦、近江学園、信楽青年寮、紫香楽病院

<共同生活介護・共同生活援助>

実利用人数/年

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量 実利用人数/年	30	32	31	35	39	45	49
実績 実利用人数/年	29	32	33	37	41	42	39
達成率 実利用人数/年			106%	106%	105%	93%	80%

※圏域の共同生活介護(GH)事業所数…33か所

平成26年4月から障害者総合支援法の改正によりGHとCHが一元化されている。

平成25年度、平成26年度国の補助及び市単の補助も利用しGHが2箇所開設された(開所はともに補助の翌年)。しかし、既設施設の廃止も併い、実質の定員増にはつながらず、重度障がい者への対応や、改正消防法に対応したGHの新設となった。平成28年度に市内に2箇所GHが新設され、入所者の調整を行い、28年度中に1名が入所された。

支援・サービスの実績

<就労移行支援> 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量	延利用日数/月 421	440	250	278	306	231	289
	実利用人数/年	18	20	22	20	20	25
実績	延利用日数/月 362	223	240	200	135	123	114
	実利用人数/年	26	16	20	14	14	17
達成率	延利用日数/月 86%	51%	96%	72%	44%	53%	39%
	実利用人数/年		111%	95%	64%	70%	68%

※圏域の就労移行支援事業所…いしべ作業所、ワークセンター紫香楽、信楽くるみ

<就労継続支援事業A型> 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量	延利用日数/月 207	257	114	114	114	300	315
	実利用人数/年	6	6	6	6	20	21
実績	延利用日数/月 95	103	150	170	313	411	484
	実利用人数/年	5	5	10	24	28	31
達成率	延利用日数/月 46%	40%	132%	149%	275%	137%	154%
	実利用人数/年		167%	183%	400%	140%	148%

※圏域の就労A事業所…ウエルメント水口、エルデイ、春の日、陽だまりサテライト

<就労継続支援事業B型> 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量	延利用日数/月 1,225	1,335	1,288	1,352	1,429	1,462	1,540
	実利用人数/年	966	1,148	1,005	1,111	94	99
実績	延利用日数/月 75	89	90	91	97	102	106
	実利用人数/年	79%	86%	94%	103%	104%	104%
達成率	延利用日数/月		90%	87%	87%	109%	107%
	実利用人数/年						

※圏域の就労継続B型事業所…バンバン、いしべ、しあわせ、虹、さつき、サニーサイド、さわらび、甲賀福祉、土山福祉、やまなみ、ゆとりあ、信楽くるみ、ワークセンター紫香楽、アイ・コラ、エルデイ

甲賀圏域においてはH23年度から事業所が増えること
もなく、2年間利用の期限付きであることから、ほぼ
横ばいの状況である。平成26年度に就労移行支援事業
に特化した新規事業所開所に向けた動きはあったが、開
所には至っていない。

特別支援学校卒業後の就労継続支援B型の利用には
就労移行支援事業所によるアセスメントが必要である
が、平成26年度中には、多機能型事業所の中で就労移
行支援事業を廃止した事業所もあり、就労移行支援事業
の定員確保を計画的に行う必要がある。

H24年度から平成27年度に圏域に新たに事業所が整
備されたこともあり、実利用者数が倍増。雇用関係を終
ひ最低賃金を保障するA型のニーズは年々高くなって
いると思われる。

今後は、就労継続支援A型から一般就労へとつなげて
いけるような支援体制の構築が望まれている。

事業所が就労継続支援B型や生活介護の立ち上げや
定員のシフトを行い、さらに複数の事業所が定員を超え
て(125%まで)の受け入れを行っていた。近
年、就労継続支援B型の利用者は増える一方であり、
特別支援学校新卒者の受け皿づくりの問題は喫緊の課
題となっている。

H29.3月の卒業生の進路先は何とか確保されたが、そ
の後の進路保障のために、早期に新たな受け皿を作る
必要がある。

支援・サービスの実績

<自立訓練(生活訓練)>

平均延利用日数/月、実利用人数/年

見込量 実績	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		延利用日数/月	132	147	76	76	76	76
実利用人数/年		5	8	8	8	8	15	17
延利用日数/月		95	72	60	105	130	116	115
実利用人数/年		10	7	12	12	12	25	21
延利用日数/月		72%	49%	79%	138%	171%	84%	74%
実利用人数/年		200%	88%	150%	150%	150%	167%	124%

地域生活を営む上で、生活能力の維持・向上などの支援が必要なものに対して行う訓練や、生活等に関する相談及び助言などを行う標準利用期間が設定されているサービス。平成27年9月に訪問型対応の新規事業所が開所したことにより実利用人数が増えた。

※圏域の生活訓練事業所…しろやまコミュニティハウス、甲賀福祉、スポットライフくれぱす

<自立訓練(機能訓練)>

平均延利用日数/月、実利用人数/年

見込量 実績	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		延利用日数/月	86	107	28	28	28	18
実利用人数/年		4	5	3	3	3	2	2
延利用日数/月		28	25	9	0	0	21	21
実利用人数/年		3	3	1	0	0	2	1
延利用日数/月		33%	23%	32%	0%	0%	117%	117%
実利用人数/年		75%	60%	33%	0%	0%	100%	50%

※機能訓練の事業所…むれやま荘

支援・サービスの実績

＜児童発達支援(旧児童デイサービス)＞ 平均延利用日数/月、実利用人数/年

見込量 実績	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		延利用日数/月	130	146	—	—	—	105
実績	実利用人数/年	—	—	—	—	—	52	56
達成率	延利用日数/月	106	100	91	92.5	135	103	121
	実利用人数/年	50	50	38	51	51	50	56
達成率	延利用日数/月	82%	68%	—	—	—	98%	107%
	実利用人数/年	—	—	—	—	—	96%	100%

※児童発達支援事業所…市が実施主体の「ぞうさん教室」

＜放課後等デイサービス＞ 平均延利用日数/月、(実利用人数/年)

見込量 実績	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		延利用日数/月	—	—	—	142
実績	実利用人数/年	—	—	—	28	34
達成率	延利用日数/月	18	81	296	275	386
	実利用人数/年	10	16	33	40	55
達成率	延利用日数/月	—	—	—	194%	224%
	実利用人数/年	—	—	—	143%	162%

※圏域の放課後等デイサービス事業所…ひまわり(スマイル、はっぴい)てんでん、さぼてん、キッズステーション
 ※学校就学中の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供。

発達支援センター就学前サービス調整会議において発達相談後の支援について検討しており、子どもの発達、園での状況、保護者の発達についての理解度、さらにサービス利用の時期などを総合的に判断している。その結果、児童発達支援の利用についても必要な児童が必ず必要な時期に利用することとなりつつある。

H24.4に新たに創設された事業で、日中一時支援よりも療育的なサービスが受けられること、送迎サービスが受けられることから、利用ニーズは大きく、利用者数・利用日数ともに毎年大きく増加している。

支援・サービスの実績

<サービス等利用計画(計画相談支援)> 実利用人数/年

	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込量	実利用人数/年	19	28	133	223	411	344	365
実績	実利用人数/年	0	0	47	168	330	306	332
達成率	実利用人数/年	0%	0%	35%	75%	80%	89%	91%

児童除く 児童除く

※圏域の特定相談支援事業所…14か所

サポートセンター、このゆび、しろやま、あかつき、うるむろ、落穂寮、つくしんぼ、湖南市社会福祉協議会、大木会、あほし、やまなみ、甲賀市社会福祉協議会、こけっこ、あゆあん

H24.4から障がい福祉サービスを利用する場合にはサービス等利用計画の作成が必須となった(児童福祉法のサービス併用の場合は障がい児相談支援における計画作成が必須)。

H26年度2事業所、平成27年度2事業所、平成28年度1事業所、平成29年度2事業所の新規事業所開所あり。委託の一般相談を併設している事業所が担っている件数が依然として多く、一般相談へ影響を及ぼしている。特定相談支援事業単独事業所へのケース移管を進めていく必要があり、基幹相談支援センター(H27.10～)が支援を行っている。

<障がい児相談支援(計画相談支援)> 実利用人数/年

	単位	27年度	28年度
見込量	実利用人数/年	80	90
実績	実利用人数/年	98	109
達成率	実利用人数/年	123%	121%

※圏域の障がい児相談支援事業所…5か所

市児童相談、サポートセンター、落穂寮、大木会、あほし

平成24年から児童福祉法に基づくサービスを利用する場合にはサービス等利用計画の作成が必須となった。(障がい福祉サービスを併用する場合は障がい児相談支援が優先される)

利用希望者は増加傾向であるため、児童を対象とする相談支援事業所が不足している状況で、計画作成事業所の確保が喫緊の課題となっている

地域生活支援事業等

支援サービスの種類	区分	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
移動支援	見込量	延利用時間/年	1,205	446	394	412	429	
	実績	延利用時間/年	1,205	447	478	494	686	※H24.10-同行運転開始
	達成率	延利用時間/年	100%	100%	121%	120%	160%	
訪問入浴サービス	見込量	実利用人数/年	2	2	2	4	4	
	実績	実利用人数/年	3	3	4	4	4	
	達成率	実利用人数/年	150%	150%	200%	100%	100%	
日中一時支援	見込量	延利用人数/年	3,195	3,665	3,718	5,321	5,775	
	実績	延利用人数/年 (再掲:障がい児ホリデイスクール)	4,251 (363人)	4,516 (340人)	3,305 (345人)	4,105 (327人)	3,337 (230人)	
	達成率	実利用人数/年	133%	123%	89%	77%	58%	
居住サポート事業	見込量	力所数	1	1	1	1	1	
	実績	力所数	1	1	1	1	1	
	達成率	力所数	100%	100%	100%	100%	100%	
日常生活用具	見込量	件数/年	1,502	1,672	1,902	1,195	1,195	
	実績	件数/年	1,220	1,115	1,183	1,472	1,540	
	達成率	件数/年	81%	67%	62%	123%	129%	
地域活動支援センター	見込量	件数	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III 型0	
	実績	件数	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0 I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III 型0	
	達成率	件数	100%	100%	100%	100%	100%	
手話通訳者等派遣	見込量	延利用人数/月	48	50	52	35	35	※窓口通訳含む
	実績	延利用人数/月	38	32	44	43	43	
	達成率	延利用人数/月	79%	64%	85%	122%	122%	
視覚障がい者社会参加促進事業	見込量	延利用人数/年	80	80	80	60	60	
	実績	延利用人数/年	60	60	86	85	67	
	達成率	延利用人数/年	75%	75%	108%	141%	141%	
自動車運転免許取得・改造助成事業	見込量	実利用人数/年	6	6	6	6	6	
	実績	実利用人数/年	4	4	3	2	6	
	達成率	実利用人数/年	67%	67%	50%	33%	100%	
障がい者相談支援事業	見込量	力所数	4	4	4	4	4	
	実績	力所数	4	4	4	4	4	
	達成率	力所数	100%	100%	100%	100%	100%	